

静かな世界

人々がもっと
お互いの目の中を見るように
そしてミュートをなだめる為に
政府はこう決めた
百六十七の言葉を一人ずつに
許すこと、一日に

電話が鳴ると、「はい」とも言えずに、
受話器を耳に当てる、店に入ると、
チキンヌードルスープを指差す
今日もよく調整している

夜遅く、遠距離の恋人に電話を掛ける
言葉を五十九しか使わなかったと誇り高く報告する
残りをあなたの為に貯めたと

彼女は返事しないと、
言葉を全部使ってしまったと分かる
だから、ゆっくり「愛してる」と囁く
三十二回、そしてもう一回
その後、電話を切らずに、
お互いの呼吸を聞く、黙々に